

館外施設のご紹介



北海道遺産・標茶町指定文化財 「北海道集治監釧路分監 本館」

明治19年、集治監の事務所として現在の北海道標茶高等学校の敷地内に設置。集治監廃止後も様々な施設の事務所として使われました。昭和44年に現在の位置に移築し、翌年から平成29年まで標茶町郷土館として使用。

平成30年に北海道遺産となり、翌31年には復元改修工事を行っています。



標茶町指定文化財 「旧塘路駅通所」

駅通所とは半官半民の宿で、北海道独特の制度です。旧塘路駅通所は明治23年に設置され、鉄道(釧網線)の開通とともに昭和3年廃止となりました。建物は漁業番屋として明治18年に建築され、特徴的な丸太組の構造をしています。令和4年に内部復元を含めた改修工事を行っています。

利用のご案内

- 開館時間: 9時30分～16時30分
- 休館日: 毎週月曜日
(祝日が月曜日の場合、翌日休館)
年末年始(12月29日～1月3日)
※7月1日～8月31日まで休館日はありません。
- 観覧料: ◎個人/220円
(税込) ◎団体(20人以上)/160円
※高校生以下と70歳以上の方
及び障がいのある方と付添1名は無料

交通案内

- JRご利用
釧網本線 塘路駅より徒歩約15分
- 車ご利用
◎釧路駅より約35分
◎道東自動車道阿寒ICより約60分
◎たんちょう釧路空港より約50分



標茶町博物館 ニタイト

〒088-2261
北海道川上郡標茶町字塘路原野北8線58番地9
TEL.015-487-2332 FAX.015-487-2364
Email: nitai-to@sip.or.jp
<http://www.sip.or.jp/~shibeche-museum/>



ホームページ



Instagram

標茶町博物館

アイヌ語で「ニタイ」は「森」。「ト」は「湖」という意味です。



ニタイト Shibeche Museum

森の緑と美しい塘路湖、
野鳥や動植物を身近に感じられ
標茶町の自然と歴史を学べる博物館です。

